

郵政改革に当たっての全国知事会の考え方

地域住民にとって、郵便局ネットワークは、非常に大事な存在である。

手紙や小包の集配など郵便事業のサービス維持が不可欠であることはもちろん、中山間地域や島しょ部の住民にとっては、郵便局が貴重な金融機関窓口となっているという実態もある。

まずは、全国どこでも、郵便、貯金、保険の各サービスが受けられるよう、郵便局ネットワークの確実な維持をお願いする。

併せて、昨年10月に示された「郵政改革の基本方針」に掲げられた「郵政ネットワークを、地域や生活弱者の権利を保障し格差を是正するための拠点と位置付ける」「地域のワンストップ行政の拠点として活用する」という方針に沿って、地域住民に役立つサービスを提供できる体制の整備に努めていただきたい。

また、金融機関としても、地域経済を支える地方銀行、信用組合、農協等の金融機関や商工団体との共存にも十分配慮していただきながら、地域ぐるみでの地域再生システムの確保に資するものとなることを強く期待する。

現政権が、「地域主権」という旗印を掲げられたことに、全国知事会としても大きな期待をもっている。

郵政改革が「地域主権」の名に相応しいものとなるよう、地方の意見にしっかりと耳を傾け、連携・協議しながら改革を進めていただくようお願いする。

平成22年1月21日

全国知事会長 麻生 渡